

石巻市南浜地区 復興祈念公園（仮称） 基本計画（案）

パブリックコメント及び市民説明会にて寄せられた
ご意見に対する見解・対応

平成27年 8月

国土交通省東北地方整備局
宮城県
石巻市

1. パブリックコメントの実施概要

○募集期間

平成27年5月20日(水)～平成27年6月18日(木) (30日間)

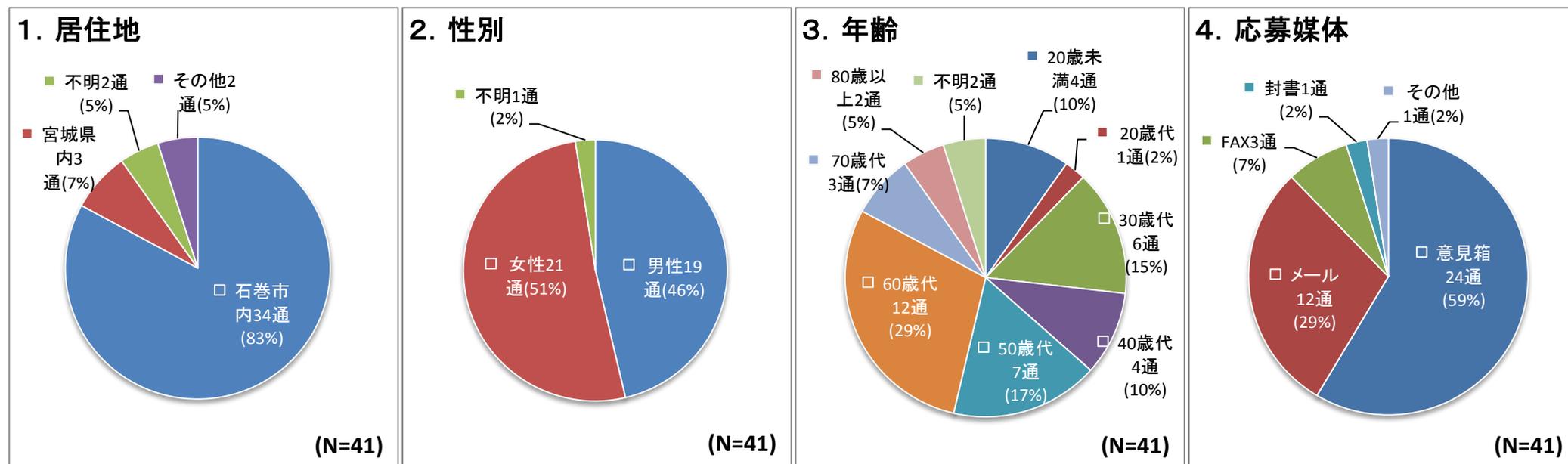
○募集方法

- ・意見箱(東北地方整備局、宮城県庁、石巻市役所に設置)
- ・郵送(はがきまたは封書)
- ・ファックス
- ・インターネット(電子メール)
- ・直接受理

○意見件数

- ・提出数: 41通
- ・意見数: 88件

○意見を頂いた方々の構成比



2. 市民説明会の実施概要

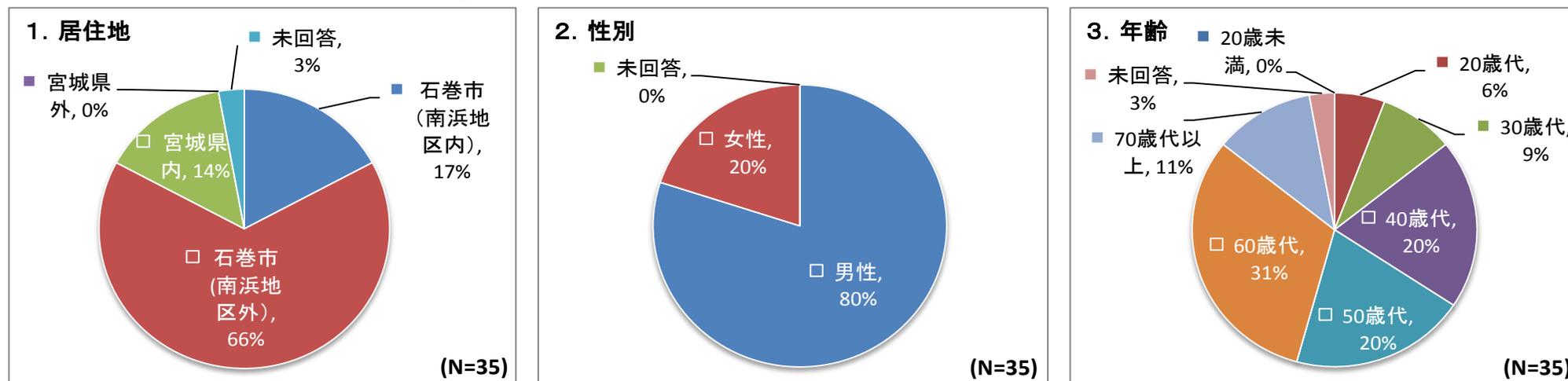
○開催日時・会場

日時:平成27年6月7日(日) 10:00~12:00 会場:石巻市役所 本庁舎4階会議室

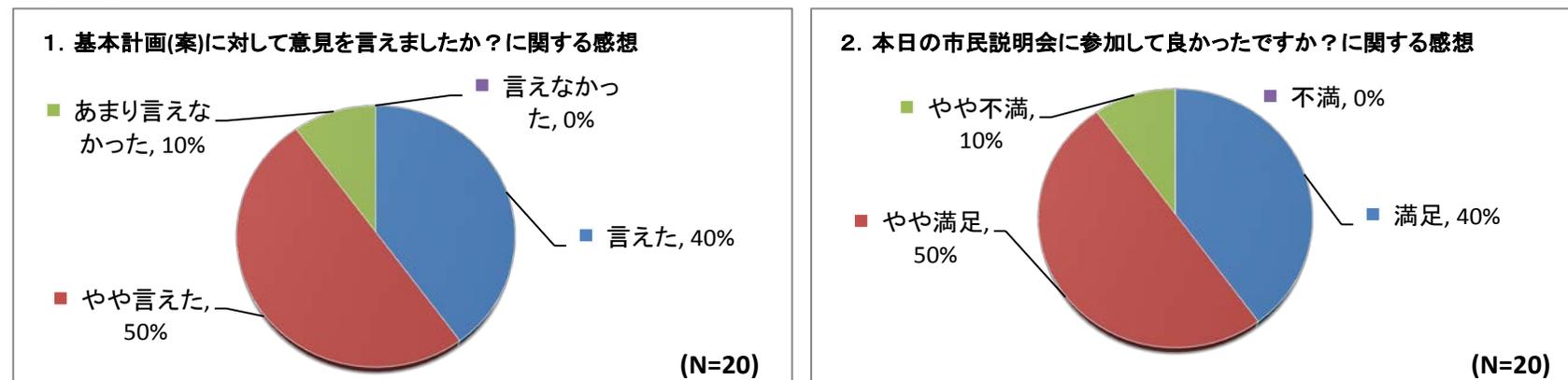
○意見件数

- ・提出用紙数:146枚(出席者35人)
- ・意見数:151件

○市民説明会にお越しいただいた方の構成比



○市民説明会の感想 (提出数 20)



○市民説明会の実施概要

- ・石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)の検討経緯及び基本計画(案)について説明いたしました。
- ・その後、石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)に関する意見・要望及び今後公園でやりたいことについて、グループ討議を行いました。
- ・参加者にはご意見等を用紙に記入していただきました。



写真:会場の様子



写真:検討経緯・基本計画(案)の説明



写真:グループ討議の様子



写真:各テーブルでの意見発表の様子

3. ご意見の分類

パブリックコメント及び市民説明会にて寄せられたご意見は、その趣旨をふまえ下表のとおりに分類しました。趣旨別に分類した結果、ご意見数は239件になりました。

No	項目	パブリックコメント	市民説明会	小計
1	公園の必要性について	8	0	8
2	基本理念について	0	1	1
3	基本方針「犠牲者への追悼と鎮魂の場を構築する」	4	5	9
4	基本方針「被災の実情と教訓を後世に伝承する」	2	13	15
5	基本方針「復興の象徴の場としてメッセージを国内外に発信する」	1	1	2
6	基本方針「多様な主体の参画・協働の場を構築する」	5	14	19
7	基本方針「来訪者の安全を確保する」	2	2	4
8	空間構成 空間構成の考え方について	4	2	6
9	空間構成 主要動線と避難について	12	23	35
10	空間構成 空間配置方針について	12	25	37
11	空間構成 国・県・市の役割と機能区分	0	1	1
12	植栽計画について	4	10	14
13	管理・運営方針について	4	17	21
14	多様な利用方法・やりたいことについて	15	29	44
15	基本計画以外へのご意見	8	7	15
16	基本計画の具体的な修正の提案・指摘について	7	1	8
意見総数		88	151	239

○お寄せいただいた意見の概要と見解・対応

お寄せいただいたご意見の概要と、見解・対応は以下の通りです。なお、市民説明会で頂いたご意見については、意見の内容や趣旨が類似しているものを集約し、まとめて掲載しております。

1 公園の必要性について

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
○追悼、祈りの場、震災の記憶を次世代に継承するための公園を建設することは、南浜地区の活かし方として最適だと思う。	本計画は石巻市震災復興計画において南浜地区がメモリアル公園として位置づけられたことを受け、有識者や関係機関、石巻市民や市外の方々との協議を重ね平成26年3月に策定した基本構想に則って策定したものです。一部、公園整備に反対する意見もございましたが、公園の必要性や基本的な考え方について、多くの賛成のご意見をいただいております。平成25年度の基本構想の段階におけるパブリックコメントに対する見解・対応と同様、石巻市南浜地区は東日本大震災の被害を代表する場所となっていることや、南浜地区に公園の整備を求める地元県、市からのご意見、またこれまでの有識者委員会の議論もふまえ、今後も基本構想・基本計画に則り、公園事業を進めてまいりたいと考えております。
○復興祈念公園は、石巻市のみならず、日本全国や世界各国にとっても重要な位置を占める場所になると思う。	
○復興祈念公園の整備に賛成である。南浜地区の時代推移を活かし、震災の被災の実情と教訓を後世に伝えるコンセプトは、南浜地区の現状を良い形で活かせるものである。	
○宮城県内で最大の被災地である石巻の南浜地区に、追悼の為の祈念公園を整備することは賛成である。	
○復興祈念公園は、明るい未来につながる公園にしてほしい。	
○石巻市復興祈念公園の計画は、本当に考え抜いた計画とは思えない。一度白紙に戻して、メンバーを全て入れ替えた方がいいと思う。	
○復興祈念公園は必要ない。モニュメントを造るより埋め立てて住宅地にしたほうが石巻の為になる。	

2 基本理念について

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
○復興祈念を東日本大震災被災地の中核として位置づけた場に相応しい内容を盛り込む。	南浜地区が石巻市でも特に被害の大きかった地区であることをふまえ、本公園の基本理念を、「東日本大震災により犠牲になったすべての生命(いのち)への追悼と鎮魂の思いとともに、・まちと震災の記憶をつたえ・生命(いのち)のいとなみの杜をつくり・人の絆(きずな)をつむぐ」と決めました。この基本理念に則り、引き続き検討してまいります。

3 基本方針「犠牲者への追悼と鎮魂の場を構築する」

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
○現在、身元不明者の遺骨は南境に納骨されることとなっているが、適地とは思えない。遺骨を納骨することで、来場者が真面目に向き合い、遺骨を取得できていない遺族であっても故人がいるかもしれないと思える場所、つまり心を寄せられる場所にしてほしい。また、県内市町村が保管している身元不明者の遺骨の一部を、復興祈念公園に分骨し、合葬することで、宮城県全体の死者のための追悼公園としてほしい。	市の身元不明者の納骨の考え方については、大衡山に建設を進めている新墓地に設置する納骨堂に安置する計画になっております。この公園内において、追悼し、祈念する場の構築は必要不可欠であり、その在り方については、引き続き検討してまいります。
○生きた証を復興祈念公園に込めてほしい。そのために、震災で亡くなった多くの犠牲者と行方不明者の名前と年令を石碑に刻んで欲しい。また、亡くなった方々を感じられるような空間構成をお願いしたい。	この公園内において、追悼し、祈念する場の構築は必要不可欠であり、その在り方については、引き続き検討してまいります。また、慰霊碑の建立については、重要な検討事項と認識しており、現在、市では刻銘も含め検討しておりますので、今後の参考とさせていただきます。
○故人名が一人一人入った慰霊碑を早く建ててほしい。	慰霊碑の建立については、重要な検討事項と認識しており、現在、市では刻銘も含め検討しておりますので、今後の参考とさせていただきます。
○震災遺構と市民活動センターを兼ねた情報発信館が必要。	市民による教訓の伝承活動の為の拠点となる空間は必要と考えております。今後基本設計等において検討してまいります。

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
○ずっとこの公園にかかわっていくために、しっかりと根拠を持ったシンボリックな追悼施設をきっちり作ってほしい。たとえば県内の身元不明者のお遺骨を納めて、そこで追悼していくということが大切なのではないか。 ○現在身元不明者の遺骨は第2霊園に埋葬することになっているそうだが、あんな山奥では、遺骨を持っていない遺族は行きづらい。ここ(復興祈念公園)に埋骨して、四季に関係なく来ることができ、遺骨を手取ることはできなくても、ここに亡くなった親族がいるのではないかと、という思いを持たせてあげたい。仏を作って魂を入れず、といったようなことにはならないようにしたい。	市の身元不明者の納骨の考え方については、大衡山に建設を進めている新墓地に設置する納骨堂に安置する計画になっております。この公園内において、追悼し、祈念する場の構築は必要不可欠であり、その在り方については、市として引き続き検討してまいります。
○復興祈念公園を東日本大震災の追悼式の拠点とし、国のイベントとして追悼を行うことを意識した公園にしてほしい。	式典自体の実施については、現時点で確定したものではありませんが、基本計画P14 c.追悼と伝承の祈念公園において、「中心部に式典や伝承活動が可能な中核的な空間を整備」することとしております。具体的な空間構成は、今後基本設計等において検討してまいります。
○公園の施設ができるまでの間、追悼と鎮魂のスペースを南浜に設置し、伝承・発信の活動を継続的に行っていきます。	公園区域内で、現在行っている伝承や発信の活動は、継続して実施していただきたいと考えております。今後、工事着工に伴い活用不可能となる場所も出てくることとなりますが、それらの活動には配慮し、施工計画を検討してまいります。
○犠牲者の名前が分かる施設が欲しい。石巻市内の方だけでなく、宮城県内の方の分も。	慰霊碑の建立については、市として重要な検討事項と認識しております。現在、市では刻銘も含め検討しておりますので、今後の参考とさせていただきます。

4 基本方針「被災の実情と教訓を後世に伝承する」

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
<p>○石巻市では過去の津波災害の被災資料を残してこなかったために、津波の危険性が市民に伝承されていなかったのではないかと。市内各地に残る被災資料を展示する震災資料館を公園内に建設すべきである。</p>	<p>基本計画P7 3.基本方針(2)において、「国内外からの来訪者が、この地のこれまでの歴史や震災後の環境変化とともに、東日本大震災の脅威や被害の大きさを実感し、適切な避難の必要性などの教訓を伝承する場を整備する。」と示しているとおり、震災の教訓を伝承していくことはこの公園の重要な役割の一つと認識しております。いただいた具体的なご提案については、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>○復興祈念公園を祈りの場だけでなく、津波防災学習の場にしてほしい。石巻周辺の平野とリアス式海岸の独特の地形によって変わる津波被害の再現や、津波の後に残った砂や泥がどこから来たのかなど、津波災害全般の影響を再現し、体験できるような施設((仮)津波防災学習センター)が欲しい。</p>	

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
<p>○震災の記憶の伝承に向けた施設を造る計画が必要である。 ○有償等その運営も考える必要がある。</p>	<p>基本計画P7 3.基本方針(2)において、「国内外からの来訪者が、この地のこれまでの歴史や震災後の環境変化とともに、東日本大震災の脅威や被害の大きさを実感し、適切な避難の必要性などの教訓を伝承する場を整備する。」と示しているとおり、市民による教訓の伝承活動の場についても必要だと考えております。具体的な施設やその管理・運営方法については、今後検討してまいります。</p>
<p>○石巻広域の歴史や震災を伝承する。 伝承活動を行いたいという意見 ○南浜の地域性だけでなく、一般的な震災の教訓も伝えたい。 ○震災の教訓がここを訪れることで分かるように、わかりやすくここであったことを伝えていきたい。 ○歴史、地史、災害、環境、自然の成り立ちについて学べる場がほしい ○被災者の避難行動の聞き取りなどをやりたい。 ○小中学生等の社会学習となる、学びのプログラムとして、震災伝承教育や研修事業をやりたい。 ○震災を経験した子供たちの作品を表現する。学校の取り組みとリンクした、持続性のあるイベントを行いたい。 ○語り部として、被災の体験、経験を伝えることができるのではないかと。 ○伝承活動として、数世代先まで伝承できるようなイベント、来た人がその子孫に伝えていってくれるような内容にしていきたい。 ○後世に伝承するため、地元の人と津波伝承のアプリを作り、訪問者に伝えたい。震災前の写真等から過去の暮らしや街並みを可視化する。 ○復興祈念公園予定地において、空撮等を利用して土地の変化を記録し、地域の方々の意見を取り入れながら、その様子を発信していく。</p>	

5 基本方針「復興の象徴の場としてメッセージを国内外に発信する」

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
<p>○<P8 3.基本方針(3)「象徴の場」および図3基本コンセプトについて>「樹木を植え、杜として再生」することと「よみがえる被災地の姿」を重ね合わせ、復興の象徴にすることに違和感があり、論理的ではないと感じる。復興の定義づけは難しいが、現状の計画案では説明が不足しているのではないか。「植樹等の継続的な市民参画による変化そのものが象徴となる」という趣旨からとは思うが、その場合、重点を置くべきは「杜」ではなく「人(の参画)」ではないか。</p>	<p>ご指摘いただいた箇所については、基本計画P8 3.基本方針(3)「人々の絆をつむぐために樹木を植え、美しい杜へと時間をかけて再生することにより、震災からよみがえる被災地の姿と重ね合わせ、復興への強い意志を国内外に発信する復興の象徴としての空間を整備する。」という部分をふまえたものです。よって、「樹木を植え、杜として再生」することを復興の象徴の一つとして位置づけておりますが、継続的な市民参画により杜づくりを優先するというものではなく、植栽計画も含め公園づくりにおいて市民参画を促進していこうとする考えに立っております。</p>

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
<p>○日本国内だけでなく世界にも発信でき、みんなが参加できるような場所になればいい。</p>	<p>基本計画P7 3.基本方針(3)において、「復興の象徴の場としてメッセージを国内外に発信する」と示しており、ご意見の通りメッセージを世界に発信し、多くの方々が参画できる公園を検討してまいります。</p>

6 基本方針「多様な主体の参画・協働の場を構築する」

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
<p>○女性や子どもの意見が反映されるようにしてほしい。</p>	<p>基本計画P8 3.基本方針(4)「多様な主体の参画・協働の場を構築する」に記載しているとおり、これまでも、市民フォーラム、元住民との意見交換会、説明会の開催等、市民の皆様に適宜ご意見を伺いながら計画の検討を進めて参りました。今後も引き続き多くの市民の皆様のご意見をお伺いしつつ、市民参画の下に公園づくりを検討してまいります。</p> <p>市民によるガイドについても、教訓の伝承等において有効な手法と考えており、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>南浜地区で活動されている多くの方々の取り組みについても、基本計画の検討の際に参考とさせていただきましたが、引き続き市民参画の促進に努めてまいります。</p>
<p>○南浜、門脇町に住んでいる住民の意見をよく聞いてほしい</p>	
<p>○女性、子どもたちの意見を取り入れ、どこに生かされたかを示してほしい。運営にあたって、住民参加の組織づくり、及び女性、子供の参画に期待する。</p>	
<p>○一定の研修・認定制度による「市民ガイド」の仕組みを作る。それにより、市民の郷土愛を深め、石巻への来訪者の受け入れを促進できるのではないか。また、復興祈念公園の整備を機に、石巻市民だけでなく、多方面からのボランティアを募ることで、震災の風化を防ぐことにつながるのではないか。</p>	
<p>○独自の市民ワークショップを開催し、様々な意見を集約している。このような内容も、基本計画への参考にしていただきたい。</p>	

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
<p>○追悼行事を行いたい。 ○地元団体や地元中学生等とも協力し、追悼と鎮魂を形にする取組を行う。</p>	<p>追悼・鎮魂に係る市民活動は本公園において極めて重要なものと認識しており、このような活動が可能となる場についても、今後検討してまいります。</p>
<p>公園づくりへの市民参画 ○公園ができた段階で市民参加の活動が行われると思うが、計画の段階から市民参加を積極的にやっていければいい。 ○段階的な市民参画をできるように。 ○ハード面での計画が多いように思うが、そろそろソフト面の計画を立てた方がいい。公園の維持管理をどういう風に行うのか、公園を活用する人としてどのような人たちがいるのか、その人たちを交えた検討会をやっていった方がいい。 ○子供達や女性の意見もこれから反映していけるのではないか。 ○海付近に居住している市民の意見を重視出来ないのか。</p>	<p>基本計画P8 3.基本方針(4)「多様な主体の参画・協働の場を構築する」に記載しているとおり、これまでも、市民フォーラム、元住民との意見交換会、説明会の開催等、市民の皆様に適宜ご意見を伺いながら計画の検討を進めて参りました。今後も引き続き多くの市民の皆様のご意見をお伺いしつつ、市民参画の下に公園づくりを検討してまいります。</p>

7 基本方針「来訪者の安全を確保する」

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
<p>○安全な公園にしてほしい。</p>	<p>津波からの避難方策も含め、利用者の安全に配慮した公園づくりを心掛け、検討してまいります。</p>
<p>○＜P8 3.基本方針(5)「来訪者の安全を確保する」について＞築山を一時避難所として位置づけるのであれば、備蓄等の設置検討に関する追記が必要と考える。</p>	<p>公園利用者は日和山への避難を原則として一時避難地として設ける築山には今のところ備蓄等は考えておりません。</p>

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
<p>○来訪者が、高台や防潮堤があるから安心だと思わないようにしなければならない。</p>	<p>公園検討区域は災害危険区域内であり、ご指摘のとおり、来訪者の方々には、本公園の立地特性をご理解いただくための注意喚起は必要であると考えています。具体的な手法については、今後検討してまいります。</p>
<p>○災害訓練を行いたい。</p>	<p>今後、管理運営の段階において、検討してまいります。</p>

8 空間構成 空間構成の考え方について

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
○3つの場所を重ねるという空間コンセプトは素晴らしい。今後の計画において各々を深め、かつ整合性を損なわないように設計し、具体化してほしい。	本公園は、「まちと震災の記憶を伝承する」という目的のもとに、市街化する前の南浜の姿や、街として暮らしがあったという記憶を残すようなデザインを有識者委員会においても検討し、「浜・街・祈念公園の場所性を重ねる」という空間コンセプトを定めました。この空間コンセプトに則り、引き続き検討してまいります。 「街の記憶」については、この空間コンセプトのもと、半世紀前からの南浜地区が市街化されていった記憶を示すことが適切であると考えております。 なお、「街の記憶」の伝承にあたっては、必ずしも住宅の基礎を残すものではなく、あわせて公園としての景観についても考慮して検討してまいります。
○町の記憶を重ねることについて、半世紀の歴史ではなく、浜の時代から、もしくは江戸時代からの街の記憶を重ねてはどうか。近世の住宅の基礎や道路等が残る配置は、公園全体の景観の妨げにはならないか。	
○復興祈念公園は、石巻市が観光都市として復興・発展するために重要な役割を持っている。広島市の平和祈念公園のように、東西南北の軸線上に各施設を配置したランドデザインとし、観光客に感動を与えるような公園にするべきである。	
○基本計画の「浜・街・祈念公園の場所性を重ねる」という計画案は、現地の状況に即した無理のない整備計画であり、方向性を支持する。	
○＜P13 b.街の記憶について＞かつての街並みを実感できる仕組みとして、町丁名を示すだけでなく、ICT技術を活用したかつての街並みの可視化なども可能ではないかと考えられるため、ICT活用に関する追記をしてほしい。	ICTを活用した可視化等、伝承のための具体的な方策については、今後基本設計等において検討してまいります。

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
○伝承につながるという意味から、街路網を残したい。	本公園の空間構成として、街の暮らしの記憶、そして街が失われたことを震災の教訓として残すため、骨格的な街路を幹線園路として残すこととしており、それをふまえ、今後検討してまいります。
○数世代先まで震災の伝承ができるよう、たくさんの人に来てもらい、言い伝えていくために遺構を現物として残すことも必要だと思う。	遺構については教訓の伝承のために重要な要素であり、公園内での遺構の保存についても今後検討してまいります。

9 空間構成 主要動線と避難について

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
○もう少し高い場所への避難移動を考えた方が良い。	<p>基本計画P14 c. 追悼と伝承の祈念公園において、「津波が発生した際は、公園利用者が安全に避難できるよう、日和山への避難路とともに、一時避難地となる避難築山を設置する。」としております。避難築山の位置づけは、日和山への避難が困難な避難者のための「一時避難地」であり、原則として、日和山へ避難するものとしております。</p> <p>なお、避難築山が一時避難地としての役割を持つことから、さらなる避難ビルの整備に関しては現在検討しておりません。</p> <p>また、津波発生時は新門脇地区から日和山へ通じる避難路を介して避難するようにし、具体的には今後基本設計等において検討してまいります。</p> <p>津波発生時における車での避難については、石巻市地域防災計画において、自動車の避難は交通渋滞をまねくため、できるだけ徒歩で避難することとされております。</p>
○真冬時のことを考えると築山へ避難するより日和山へ走った方が安全であると考えられる。山へ向かう避難路の整備が大事ではないか。また、冬場を考慮し、公園内に一時避難のできる建物があれば良いと思う。	
○築山から日和山への避難道路の整備と、避難ビルを建ててほしい。	
○日和山に向かう避難道を作ることが第一の安全確保である。築山に避難するのでは安全は確保できない。南浜復興祈念公園に避難ビルが作れないのか不思議。	
○中途半端な築山は却って危険であり、日和山にいち早く逃げられる避難道を整備した方が有効だと思う。	
○中途半端な築山ではなく、ちゃんとした避難ビルがないと安心できない。また、それらの維持管理費で後々困らないよう考えてほしい。	
○避難道路は一連のものとして考え、歩きやすく登れるようにしてほしい。徒歩での移動が大変な人も通りやすい工夫が欲しい。	
○避難道路を日和山方面にすれば、非常時の緊急避難の対応もできるのではないか。	
○日和山への明確な避難路を2カ所設置し、駐車場からの車での避難経路も明示する。	
○<P15 公園へのアクセスとエントランスについて>公園西側は多目的広場が予定されているが、図7においては多目的広場へのエントランスは1箇所しかないように見える。サブアクセスゲートや駐車場を中町通との交差点等にも配置した方が利便性が増すと考えられる。	
○<P21 (4)空間の骨格5)来訪者の安全を確保する場 具体化に向けた考え方 1つ目>築山の配置について、海側への配置は避難者の避難の判断を鈍らせる可能性がある。築山は日和山側への配置を検討して頂きたい。	<p>築山の配置は、石巻市地域防災計画の考え方を基本に、今後基本設計等において検討してまいります。</p>
○<P17 3)津波発生時の避難経路及び避難築山について>国土交通省「東日本大震災からの復興に係る公園緑地整備に関する技術的指針」IV(1)③「盛土の位置と形状」に、「盛土は海岸沿いよりも海から遠い陸側に配置する方が効果が大きい」とあるので、築山は山側に配置するのが望ましい。また、築山の技術設計にあたっては、前述の技術的指針や関連の技術資料等を参照頂きたい。	<p>国土交通省の技術的指針等をふまえ検討しておりますが、今後基本設計等においても検討してまいります。</p>

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
<p>避難築山について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在は東側に計画されているが、そこ一箇所では足りないのではないか、西側にもあった方がいいのではないか。 ○一時避難所としては海側に近すぎるのではないかと。築山の有効性を考え、位置・場所について、もう少し内陸側に作ってほしい。 ○「一時避難所」という利用方法に誤認識が生まれないように、きちんとサイン・誘導を行えるように対応するのがよい。 ○徒歩5分で避難できる高台がある地域にも関わらず、犠牲者率が高かったこの場所で、築山は有効なのか？ ○避難築山の形状は自然な形がよい。 ○フィールドアスレチックも兼ねてはどうか。 	<p>基本計画P14 c. 追悼と伝承の祈念公園において、「津波が発生した際は、公園利用者が安全に避難できるよう、日和山への避難路とともに、一時避難地となる避難築山を設置する。」としております。避難築山の位置づけは、日和山への避難が困難な避難者のための「一時避難地」であり、原則として日和山へ避難するものとしております。津波発生時における車での避難については、石巻市地域防災計画において、自動車の避難は交通渋滞をまねくため、できるだけ徒歩で避難することとされております。</p>
<p>避難路について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園に来る交通手段として車が殆どだと思いが、万が一の場合は車等での避難も考えられる。安全面をよく考えて整備してほしい。 ○増やした方がいい。 ○避難誘導のためのサイン等を設置 ○バリアフリーを考える必要がある。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○(旧)北上川との連携・連動を行う。公園内に対して、北上川と行き来しやすい様になるとよい。 ○旧北上川から公園に船で入っていけるようにしてほしい。 	<p>基本計画P19 5.空間構成(3)空間配置方針において、公園の旧北上川沿いを川と一体となったエントランス空間と位置づけております。その具体的な空間構成等は、今後基本設計等において検討してまいります。また、船でのアクセスについては、現在そのような構想はありませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>駐車場について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模な駐車場が必要 ○大小で駐車場が必要。目的場所に近い所に駐車場が欲しい。 ○安全性を考慮し、駐車場は北側につくるべき。 ○場内に駐車場とは別に駐車スペースを設けるべき 	<p>今回のご意見もふまえ、今後の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○車以外の交通手段 バス会社と連携をとったり アクセスを考える 	<p>現在路線バスの乗り入れ等の有無は決まっておりますが、公園へのアクセスについても引き続き検討してまいります。</p>

10 空間構成 空間配置方針について

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
○公園のモニュメントは、アメリカ合衆国ミズーリ州セントルイス「ジェファーソン国立祈念公園」の「ゲートウェイアーチ」を参考にしてほしい。	モニュメント等の具体的なご提案をいただきましたが、基本計画においてはモニュメント等の具体的な形まで定めるものではありませんので、いただいたご意見については、今後の基本設計以降の段階で検討してまいります。 また、公園内におけるモニュメント等の具体的な受け入れについては、今後有識者委員会でそのあり方を検討してまいります。
○古来の雑木を植林し、木の元に津波で亡くなった方々の名を刻んだ石を置く。また、コンクリートなどで地面を覆わず、落ち葉等は地面に戻すなどして、自然の循環を再生する。	
○「鎮魂の丘」と「鎮魂の道」を配した日時計を設置し、3月11日14時46分に合わせ、日時計の影と鎮魂の道が重なるような配置とし、犠牲者となった方々へ思いをはせられるようにする。	
○来訪者に追悼の気持ちを「形」として残していける仕掛けが必要。(北アイルランドにあるベルファストの”平和の壁”のような)	
○「みやぎ絆大使」の武藤順九氏によるモニュメントを「鎮魂と追悼の丘」へ設置してほしい。	
○石彫家の故山口牧生氏、子女さとこ氏、山口氏の妻で詩人の三智氏の作品を常設してほしい。	
○モニュメントの構想デザインを用意したので、基本計画(案)策定に際して検討いただきたい。	芝生や緑の空間については植栽計画に位置づけており、今後基本設計等においてさらに検討してまいります。
○多目的広場に、芝生公園や、失われた緑の空間を整備し、癒しの場を提供してほしい。	公園の空間構成や施設については、ご指摘の矢本海浜緑地も参考にしております。なお、避難ビルに関しては、避難築山が一時避難地としての役割を持つので、現在検討しておりません。
○防潮堤に桜の木を植え、四季折々の草花と広い芝生があり、大人も子供も過ごせる自然体の公園にしてほしい。また、広い駐車場や避難ビルを設置してほしい。旧矢本町の海浜公園のような公園にしてほしい。	
○市民や様々な活動主体が、植樹等の活動をする場所を明確にするべきである。	植樹等を行う具体的な場については、有識者や関係機関と協議しつつ、検討してまいります。
○3月の南浜は寒く、警備の面においても、屋外での式典はふさわしくない。	3月における現地の気候については有識者委員会でも平成26年3月に現地で確認したうえで検討しております。なお、式典自体の実施については、現時点で確定したものではありません。
○3月の南浜は風が強く寒いので、国の式典を行うにはふさわしくない。	

■市民説明会(1)

ご意見の概要	見解・対応
○各地の津波到達高さに対応した、○○(地名)の丘をつくる。	公園施設に関する具体的な提案については、今後の参考とさせていただきます。
街の記憶を残すサイン等の設置についての意見	
○南浜の記憶をパネル・地番表示などで明示。	
○公園や祈念碑に町内会等の名称を入れてほしい。	
○トイレや休憩スペースはどのようにするのか。	
○休憩スペースは、周辺の景色も考慮してほしい。	
○大きな広場よりは、小中規模的な芝生広場がいくつかあれば、それぞれで集えるのではないか。	
○海との向き合い方を表現できる場にしたい。	特定の宗教に寄らず、多様な祈りのあり方を受け入れられるような場として今後検討してまいります。
○旧北上川との一体的な整備を行い、ロケーションを活かした食事ができる施設があるといい。	
○鎮魂の場に、静かに思いを巡らせられるような道を設置したい。	
○鎮魂の形について、宗教を考慮してほしい。	新門脇地区土地区画整理事業によって整備される市街地との関係性に留意しながら検討してまいります。
○接する新門脇地区が前進できる様な関係づくり。	
○「がんばろう石巻」の立て板を移動することだったが、タイムラグが発生しないように移動できるのか。	基本計画では、「「がんばろう石巻」看板の機能を移設し」としており、看板そのものの取扱いについて決定したものではありません。 その取扱いについては、地権者の意向等もふまえ、今後検討してまいります。
○駅から公園への主なルート沿いで、来訪者の意識が自然と鎮魂に向かうような工夫が必要。	公園外につきましては、現在検討してはおりませんが、公園のアクセスゲートからの動線に関しては、今後の参考とさせていただきます。
○一泊できるキャンプ場のようなものを用意し、子供たちの自然活動の場とする。	公園検討区域内(南光門脇線より南側)は災害危険区域に指定されているため、公園内で宿泊を伴う利用を行うことは考えておりません。
○居住地との間の防音対策が必要	周辺環境との関係性を十分考慮した上で、今後検討してまいります。

■市民説明会(2)

ご意見の概要	見解・対応
<p>湿地や池について</p> <p>○その場所で公園利用者が事故等に遭った際の対応などは考えて計画されているのか。</p> <p>○今ある湿地は低い低平地となっており、災害がもたらしたものだが、(住宅地になる以前の状態に)復元されている形である。しかし、湿地エリアの拡大等を行う場合でも、かつての生活痕が見えるような形に残すことを計画案に入れてほしい。</p> <p>○湿地を活かした緑豊かな空間が欲しい。</p> <p>○水が循環するよう計画してほしい。</p> <p>○湿地帯を残すことは、南浜の生活痕を地下に残し、ジオ・サイトにもなりうる新しい形のコンセプトだと思う。</p> <p>○既存の湿地をつぶさない施設配置(築山等)を望む。</p>	<p>湿地については、かつて市街地があったことを意識しつつ、利用者の安全性も考慮して計画してまいります。また、築山の配置についても湿地との関係性も含め検討してまいります。</p>
<p>○湿地は東側に広げ、避難築山を善海田稲荷の付近に作り、単なる海が見える場所として設置する。</p>	
<p>○希望を伝えるためのなにか。(希望の風せん)(希望の光)(希望のモニュメント)</p>	<p>モニュメント等の具体的なご提案をいただきましたが、基本計画においてはモニュメント等の具体的な形まで定めるものではありませんので、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、公園内におけるモニュメント等の具体的な受け入れについては、今後有識者委員会でそのあり方を検討してまいります。</p>
<p>○石巻市有志が作ろうとした、巽大仏を作って欲しい。</p>	

11 国・県・市の役割と機能区分

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
<p>○整備費、維持管理費について、国・市への負担はどのようになるのか。</p>	<p>国・県・市の役割分担については、常に三者間で調整を行っておりますが、整備、維持管理はそれぞれの主体が行っていくこととなります。</p>

12 植栽計画について

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
○季節ごとに花が咲く木、花々を植えて、日和山から常に花の見える公園にしてほしい。花の芸術公園のようにしてほしい。	植栽計画においては、地元の植生を活かすとともに、基本計画P24 6.植栽計画(1)植栽基本方針において、「加えて、この公園が犠牲者への追悼と鎮魂の場となることから、このような場にふさわしい花による修景を行う。」としており、花についても位置づけております。今回いただいた具体的な提案については、今後の参考とさせていただきます。
○海岸の植樹は津波に強い木等をよく研究して植樹してほしい。また、公園の内側を桜並木の散歩道としてはどうか。いずれにせよ植樹等は管理面もよく考えて作ってほしい。	桜が植栽された空間については必要と考えており、樹種等については今後基本設計等において検討してまいります。
○聖人堀の街路樹の桜並木を思い出せるような、桜の木がたくさん植えられた場所が欲しい。	
○植栽タイプの模式図面とイメージから、クロマツの比率が高すぎるように感じる。多様性と変化を深めた海岸林としてほしい。	樹木の特性をふまえた具体的な植栽計画については、今後基本設計等において検討してまいります。

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
<p>植栽計画の基本的な考え方に関する意見</p> <p>○追悼していくには、花を絶やさないようにしてほしい。</p> <p>○鎮魂のための植栽として、花と共に樹木も植え、日本古来の鎮守の森の形としてほしい。</p> <p>○地元の植生を活かし、後世に遺る美しく意義あるものとしたい。</p> <p>○植生や植栽を多く残してください。</p> <p>○この地は、前々から風が強くて、ぐるっと取り囲むよう防風林がないと利用者が公園を利用するのは難しいのではないか。</p>	植栽計画においては、地元の植生を活かすとともに、花についても位置づけております。今回頂いた具体的な提案については、今後の参考とさせていただきます。
<p>具体の植物種に関する意見</p> <p>○クロマツが多いので、耐潮性を考慮しながら、他の植生も考えてみてはどうか。</p> <p>○松は海側でよい。</p> <p>○公園外周に桜の回廊ができるようにしてもらおう。</p> <p>○湿地帯は、木道の設置により公園内を散歩出来るようにし、ハス、しょうぶ、あやめ等を植えてもらおう。</p> <p>○クロマツ林と混合する形で広葉樹を植えてほしい。混合林としてほしい。</p>	具体的な植物種については、今後基本設計等において検討をしていますが、今回いただいた具体的な提案については、今後の参考とさせていただきます。

13 管理・運営方針について

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
○公園の維持管理がこの地域の雇用として運営されれば望ましい。	今後の設計や整備にあたり、整備後の維持管理も念頭において、今後検討してまいります。
○公園の維持管理は市ではなく民間業者に任せ、地元の人を雇用してほしい。	
○公園の維持管理をしっかりとし、常にきれいな場所であってほしい。子供達、老人、人々が集える、明るく楽しい公園になってほしい。	
○杜づくりが長期計画であることから、公園の施工に先行して、多様な団体が杜づくりに参画・協働できる事務局を設置することが望ましい。	多様な団体が杜づくりに参加するための仕組みについては必要と考えております。今後、参加団体等については公募等を行い、杜づくりへの参加の場を設けたいと考えております。

■市民説明会(1)

ご意見の概要	見解・対応
<p>維持管理への市民参画について</p> <p>○公園を作る前、整備段階、作った後の維持管理について、市民やNPOへ呼びかけ、市民参加型で公園を作り上げる。</p> <p>○公園をリニューアルする際も市民からの活動を募って行っていきたい。桜等を植樹する際も、植樹する方を公募で決めるなど、(市民に)オーナーシップ感を持たせ、ずっとこの公園に訪れて育てていきたい、面倒を見ていきたい、という感覚を持たせられるような公園にしたい。</p> <p>○町内会で掃除を分担したい。</p> <p>○市民のガイドボランティアのシステムを作る。検定システムにし、市民の郷土愛を高める。</p> <p>○市民全体が管理できるエリアを作るなどして、市民や外から来たボランティアなどが公園づくりに関われる体制にしたい。</p> <p>○聖人堀で水泳大会ができるくらい、市民・住民参加で聖人堀の水質浄化に取り組む。</p>	今後の設計や整備にあたり、整備後の維持管理も念頭において、市民参画を意識しつつ検討してまいります。

■市民説明会(2)

ご意見の概要	見解・対応
<p>○植栽用の苗づくりを通して、多くの人に関わり、追悼と復興の精神を重ねた活動をしたい。</p> <p>○苗木作りなどを通して植栽づくりにも計画段階から(市民が)かかわっていく。(植栽を)作り上げて、さらに活用していく。</p> <p>○全国からいろいろな桜を集め、個人と公人の寄付として植樹する。</p> <p>○使用する樹木の苗木については、3年程度の育苗期間が必要なので、関係者の協議会的なものを先行して立ち上げる必要があると考えられる。</p>	<p>基本計画P32 (2)多様な主体の参画と協働のあり方において、多様な主体の参画と協働による杜づくりについて記載しております。</p> <p>今後も、基本計画に則り検討してまいります。</p>
<p>○管理コストについて、公園の利用料を有料化して公園の維持管理に利用する。</p>	<p>今後の設計や整備にあたり、整備後の維持管理も念頭において、今後検討してまいります。</p>
<p>○公園全体を見て管理する組織があるとよい。</p>	
<p>○運営費と維持費を考慮して計画すべき。維持管理にあたっては、その土地にあった樹種選びが必要</p>	
<p>○広大な花畑をつくり、入園料、花の販売、加工品販売等を行ってみてはどうか。雇用対策にもなる。</p>	<p>公園の管理運営に関する具体的な提案については、今後の参考とさせていただきます。</p>

14 多様な利用方法・やりたいことについて

■パブリックコメント(1)

ご意見の概要	見解・対応
○市民が明確な目的がなくとも、自然と公園を訪れて時間を過ごすことができる空間をデザインすることが重要である。	具体的なお提案については、今後の参考とさせていただきます。
○多くの人が楽しみ、集う公園、子どもが遊ぶことができる公園を造ってほしい。	
○市民が日常的に集う公園にしてほしい。中瀬公園や萬画館、海にも近いので、市民が日常的に集い遊べるエリアにしてはどうか。	
○公園は必要だと思うが、石巻市をこれからどのようなまちにするか明確な目標がないままでは、ただの広い公園。南浜町の海側の堤防を高く作り、その堤防の上にお店やレストランや小さな遊園地を作り、海を眺めて食事や遊びができる、といった観光地化のような斬新な考えを持つべき。	
○矢本海浜緑地公園のような、木や花があって、遊具があったり散策コースがあるような公園にしてほしい。	
○多目的広場の整備内容について、震災前に南浜地区にあった雲雀野公園のような、野球やソフトボール、サッカー等ができる場の整備をしてほしい。年配の方も楽しめるようなグランドゴルフのコースがあればなおよい。	
○震災でなくなった石巻市民プールを複合施設として祈念公園に設置してほしい。また、そのプールを震災時の避難場所や備蓄倉庫、貯水槽としても活用してほしい。	
○市が担う多目的広場に、サッカー場や野球場がほしい。	
○ウォーキング・ジョギングコースの設置。その際、車椅子利用者も移動の練習ができるような道幅の余裕を持たせてほしい。また、腰掛けられる休憩スペースも欲しい。	
○フランスで開発された風力発電ツリーを設置してほしい。	
○せっかく造園家の涌井委員長がいらっしゃるので、日本庭園と茶室を作り、茶会を催すなどして、石巻の文化度を高めてほしい。	
○多目的広場に「市民プール」を設置してほしい。堤防により海岸と疎遠になってしまうが、海と川に囲まれた地域だからこそ、幼児期から水に親しんでほしいため。	

■パブリックコメント(2)

ご意見の概要	見解・対応
<p>○復興祈念公園は、多様な主体の参画や協働の場が創出される場となってほしい。 多様な主体の参画・協働の一環として、“アートガーデンビレッジ構想”を提案する。アートイベントを開催し、将来にわたってこの地域が忘れ去られることなく、賑わいのある公園となれるようにしたい。</p>	<p>ご指摘のアートイベントも含め、本公園が多様な主体の参画・協働による様々な活動ができるよう、今後検討してまいります。</p>
<p>○完全に安全とは言えない場所でイベント等を開催し、人を集めるようなことはしない方がいいのではないか。</p>	<p>公園区域内は、東日本大震災と同レベルの津波や高潮が発生した場合、浸水することが想定されるので、イベント開催時における来訪者の避難に十分配慮した公園を検討してまいります。</p>
<p>○コンサートやスポーツ施設はふさわしくない。多くの来訪者を望む意見もあるかもしれないが、追悼と祈りの場であることが第一だと思う。</p>	<p>基本構想段階から、本公園は犠牲者への追悼、鎮魂を第一に検討を進めてきております。今後も、追悼と鎮魂の思いを第一に、多様な市民のニーズを適切に受け入れる公園としてまいります。</p>

■市民説明会(1)

ご意見の概要	見解・対応
<p>○「暖」をテーマにし、暖かさを感じられる公園にしたい。</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>日常利用について ○あまり鎮魂や祈りをタブー視せず、みんなが集える公園にしたい。 ○お年寄りや子供達が集う場所 ○若い世代が集う場所 ○日常、身近に感じられる公園としてサイクリング等に使っていきたい。 ○レクリエーションとして、キャンプや祈念公園を周遊できる遊歩道を整備したうえで、気軽に散策、ランニングができるような祈念施設やエリアとなるといい。 ○緩やかに遊び、過ごせるよう、花やトレイル、パークゴルフ場、あるいはドッグランなど遊べる場所があってもいいのではないか。 ○サッカー場、ソフトボール場、テニスコート ○公園でゆっくり休みたい、静かに過ごせる場もほしい。 ○聖人堀に船を浮かべ釣りをしたい。</p>	<p>公園施設に関する具体的な提案については、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>○追悼と祈りが基本であるが、楽しむことが禁じられてはいけなない。様々なコンセプトが混在した場とし、歓迎できる場になるようにしたい。</p>	<p>基本計画P14 c. 追悼と伝承の祈念公園において、「運動やレクリエーション活動、イベント等多様な市民活動の拠点となる空間を整備する」と記載しており、そのような空間についても今後検討してまいります。</p>

■市民説明会(2)

ご意見の概要	見解・対応
<p>一次利用・イベントをやりたいという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベントステージ ○ツール・ド・東北や復興マラソンのような大規模なイベント会場として活用 ○市民が楽しめるバーベキューとかのイベント ○子供達との自然体験学習、サバイバル学習などができるのではないか。 ○たくさんの人が集まる音楽イベント、アートイベント ○地元や石巻の小中学校が一年に一回来るイベントや遠足の場 ○川沿いの空間と公園を活用したイベントがしたい。 ○映画上映 ○湿地で生物体験を子供達と行う。湿地を活かしたイベントをする。 ○町内会単位の清掃活動 ○環境学習等の継続性について考えたい。 ○有償のイベントを実施し、維持管理費にあてる。 	<p>本公園が多様な主体の参画・協働による様々な活動ができるよう、今後検討してまいります。</p>

15 基本計画以外へのご意見

■パブリックコメント

ご意見の概要	見解・対応
<p>○石巻市の復興事業すべてをもう一度考え直したほうが、人々や今後の石巻市のためになると思う。</p>	<p>石巻市の復興事業は、平成23年12月に策定した石巻市震災復興基本計画をベースに、個々の事業についても十分に検討したうえで実施するものです。</p>
<p>○堤防の整備など、公園を造る前にやるべきことがあるのではないか？</p>	<p>また、復興祈念公園は、現在石巻市が取り組んでいる復興まちづくりに沿った形で進めており、堤防の整備についても着実に進めてまいります。</p>
<p>○現在進んでいる復興事業を優先し、現時点では祈念公園の計画は樹木を植え自然公園のような形にしておいた方がいいと思う。</p>	<p>なお、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>○公園の維持管理はどうするのか。門脇小学校を残すなら、そこをミュージアムにし、収益を公園維持費にあてるのはどうか。</p>	<p>門脇小学校の保存については、現在、市が検討中です。</p>
<p>○門脇小学校を残すなら伝承、物産館、商業の複合施設と一体となり、公園管理費に充当できる収益を上げられる施設にしてほしい。また、修学旅行で震災を体験・伝承・発信できる施設を造ってほしい。</p>	
<p>○公園の本格的な整備が始まる前に行方不明者の捜索はするのか。特に聖人堀は捜索すべきだと思う。</p>	<p>平成27年5月末に南浜地区の一斉捜索を行ったところですが、その結果をふまえながら、今後の捜索活動の実施について検討してまいります。</p>
<p>○大きい会社の土地ばかりでなく、小さい企業の土地もすべて買い上げて公園にしてほしい。</p>	<p>復興祈念公園として必要な用地は、基本的には防災集団移転促進事業によって買い取る予定です。それ以外の土地についても、必要に応じて買い取りをしていく予定です。</p>
<p>○稲井町につくった方がいいと思う。</p>	<p>本公園は、石巻市震災復興計画に基づき、南浜地区に整備をすることとしております。</p>

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
○マンガ館、旧北上川、日和山などを観光周遊できるようにしたい。	周遊の考え方については、市で計画する「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」にも位置づけており、また、旧北上川河川堤防整備に伴い「旧北上川河口かわまちづくり」の検討が進められていることから、これらとの連携も図りながら検討してまいります。
○聖人堀を搜索してほしいという声をたくさん聞く。2015年5月31日の搜索では、聖人堀の搜索は行われなかったため、本格的な工事に入る前に聖人堀の搜索をしてほしい。	平成27年5月末に南浜地区の一斉搜索を行ったところですが、その結果をふまえながら、今後の搜索活動の実施について検討してまいります。
○新門脇地区について、土地区画整理事業は日和山と復興祈念公園の一体化を考慮し、使用目的、高さ制限等、十分検討してほしい。	新門脇地区土地区画整理事業はすでに市が工事着工しており、現在のところ、復興祈念公園を意識した高さ制限等を設ける予定はございませんが、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
○この公園にどれくらいの経費をかけ、どんなもの、ことを考えているのか、ということが分からないと提案がしにくい。	今後も市民参画の場を継続して設けていきたいと考えており、その際、必要な情報を随時提供してまいります。
○本当に計画は進行するのか。 ○工事はいつ完成予定なのか。	平成32年度完成を目標に、公園整備を進めてまいります。

16 基本計画の具体的な修正の提案・指摘について

■パブリックコメント(1)

ご意見の概要	見解・対応
<p>○<P21 (4)空間の骨格3)復興の象徴の場 具体化に向けた考え方2つ目>復興の象徴とするには説明不足であると感じることに加え、この文章は日本語としてわかりにくく、かつ「杜づくり」との関連が理解しづらく感じた。「多様な主体のかかわりを促すため、かわまちづくりと連携し、市街地との交流や、広域的なネットワークを図る公園とする。」といった修正を検討して頂きたい。</p>	<p>ご指摘いただいた箇所については、基本構想策定時より市民の方々から「杜づくりに参画したい」という要望が寄せられていたため、杜づくりと市民参画を結び付けております。また、「かわまちづくりとの連携」の目的は、多様な主体のかかわりを促すためではなく、本公園の区域が、石巻市が検討を進めている「いしのまき水辺の緑のpromenade計画」の拠点の一つとして位置づけられており、エントランス空間など一体な整備を行うことにより、広域的なネットワークが図られると考えられることから記載しているものです。</p>
<p>○<P21 (4)空間の骨格4)多様な主体の参画・協働の場 具体化に向けた考え方2つ目>石巻市民に限らず、他県からも多くの来訪者を予定しているだろう。また、全国の方々にも参画して頂きたいため、「市民」より「人々」のような語句が望ましい。</p>	<p>文中の「市民」とは、石巻市外の方々も含め広義的な「市民」として記載しております。</p>
<p>○<P30 7 管理・運営方針について>大項目として「管理・運営」方針を掲げるのであれば、復興祈念公園全体についての運営体制に言及すべき部分ではないか。章立ての再構成を検討して頂きたい。また、これまでにハード面での検討がなされてきたが、「追悼・鎮魂」等のソフト面についても、管理・運営体制を含めた準備や協議を開始すべき段階ではないかを感じる。ソフト面に関して、自発的に取り組みを実施する市民等との共有・協議が可能な場を設置して頂きたい。</p>	<p>章立てについてはご指摘の通りですが、基本構想策定時から、杜づくりへの市民による管理・運営に関する意見・要望が多かったことから、杜づくりに関する事項として取りまとめました。 しかし、最近では杜づくり以外への市民参画活動に関するご要望もいくつかいただいております。ソフト面に関する協議も含め、多様な市民団体の参画については、今後の有識者委員会等において検討してまいります。</p>

■パブリックコメント(2)

ご意見の概要	見解・対応
<p>○<1章>平成26年10月31日付閣議決定「東日本大震災からの復興の象徴となる国営追悼・祈念施設(仮称)の設置について」の趣旨や、国営追悼・祈念施設(仮称)の概要、南浜地区が設置場所の一つに決まった事について紹介する文を追記するべきではないか。</p>	<p>ご意見をふまえて修正いたします。</p>
<p>○<P20 (4)空間の骨格2)教訓の伝承の場 具体化に向けた考え方>ここで、日和山を視点場とすることも書いたほうが良い。</p>	
<p>○<P20 (4)空間の骨格2)教訓の伝承の場 2行目について>元の街路や湿地を公園デザインに取り入れることと、教訓の伝承はイコールではないので、日本語として無理があると感じる。「元の街路形態や震災以降、災害後出現した湿地等を公園デザインに取り入れ、市民による伝承活動の拠点となる空間を整備することで震災と津波の教訓を伝承する」といった一文が良い。</p>	
<p>○<P21 (4)空間の骨格4)多様な主体の参画・協働の場 具体化に向けた考え方1つ目>「材料」という単語が「復興祈念公園の計画書内の文脈とそぐわず、何を示すかが不明確な語句。P30,31にも「材料」とあるが、P24にあるような「苗木作り」といった語句で統一した方が良い。</p>	

■市民説明会

ご意見の概要	見解・対応
<p>○五つの基本方針と空間構成の繋がりがわかりにくい。</p>	<p>基本方針に基づき、「浜・街・祈念公園の場所性を重ねる」という空間構成の基本的な考え方や空間配置方針を定めました。空間構成と基本方針の関係性については、基本計画P20 5.空間構成(4)空間の骨格にて整理しております。</p>